

質 問	回 答
入札方式別発注工事の状況について	
○特に意見なし	
質 問	回 答
指名停止等の状況について	
○特に意見なし	
1. 簡易型一般競争入札（工事） 【（一）黒沢安城浜田線（長見工区）防災安全交付金（改築）工事】 〔発注機関：土木部 浜田県土整備事務所〕	
○資格設定時の対象参加者が31者あったのに1者しか手が挙がっていないのはなぜか。	○技術者不足で手を挙げられる方が限られたのではないかなど推察される。
○工事費内訳書で各項目の県設計額と落札業者の算定額がほとんど同じであるが、設計額は公表しているのか。	○各項目の歩掛は基準として公表しているが、額は公表していない。単価も含めて公表しているのと同じ額となり得る。
○見積もりを取った工種はどれか。	○アンカー工と鉄筋挿入工の一部、ロープ伏工といった標準歩掛がない工種。
○提出された見積もりからどのように設計額を決めたのか。	○見積もりの平均額を算出し、平均直下の歩掛を採用し設計額を決めている。
○特殊な工事で実質的に業者が絞られたのではないのか。対象者をあらかじめ広げる検討はしなかったのか。	○標準歩掛がないだけで、実績のある業者は相当数あった。技術者不足と時期的な問題があったと思われる。
2. 簡易型一般競争入札（工事） 【浜田川総合開発事業 第二浜田ダム管理用発電設備（土木）工事】 〔発注機関：土木部 浜田河川総合開発事務所〕	
○入札参加者が2者しかいなかった理由は。	○管理用発電設備という特殊な工事であったのがその理由と推察される。
○対象参加者数を増やすことができないのか。例えば、浜田県土整備事務所に主たる営業所があるという要件を外せば広がるのでは。	○浜田管内で施工事例を有する者が確認できたため、要件として設定している。

<p>○本工事の対象範囲は。</p> <p>○放流ゲート室は今回の工事と同じ業者か。</p> <p>○発電設備の計画は後から出てきたものか。</p> <p>○発電設備を作るために費用がかかっているが、売電で回収できるのか。</p> <p>○機械関係の積算内訳が土木や建築と比べて細分化されていない理由は。</p> <p>○落札者の入札額が県の設計額に比べて土木工事は安く、建築工事は同じ、機械設備工事は高くなっているが、この違いをどう考えているか。</p> <p>○機械設備（水圧管）のみを別発注することは考えられないか。</p>	<p>○発電設備の半地下式建屋と水圧管を対象としている。水車と発電機は別工事で発注する。</p> <p>○第二浜田ダムの工事で完成済みであり、今回の工事とは直接関係のない部分である。</p> <p>○水力発電の固定価格買取制度が平成24年に始まり、ダムの全体計画を28年度に変更し、国の認可を受けた後に発電設備を追加している。</p> <p>○計画時点で費用対効果を算出している。ダムの管理に必要な電力を発電することが主目的であり、余剰電力は売電する計画で中国電力と協議して進めている。</p> <p>○積算体系の違いによるものであり、製作原価と据付原価で構成される。</p> <p>○経験や得意分野によって差が出ているものと推察される。</p> <p>○当初は別発注としていたが、入札がなかった。再度単価を見直して発注したが入札がなかったため、土木・建築工事と一体として発注した。</p>
<p>3. 簡易型一般競争入札（工事）</p> <p>【妙仙寺地区 県単急傾斜地崩壊対策工事（現年災）】</p> <p>〔発注機関：土木部 出雲県土整備事務所〕</p>	
<p>○参加対象者の数、56者のうち、1者しか応札がなく、落札率が100%となった理由は。</p>	<p>○この現場が非常に狭く、人力作業がほとんどなること、また、材料等を頻繁に小運搬する必要があり、利益が出にくい工事であると受注者より聞いており、このような結果となったと思われる。</p>

<p>○入札者が少ないということは、予定価格が低過ぎるのではないか。</p> <p>○工事費内訳書では項目ごとに金額が変わっているが、総額が設計額と千円単位で同じとなっているのはなぜか。</p> <p>○現場がやりにくいと言うことを踏まえた積算となっているのか。災害復旧工事のため急ぐ必要があるが、金額を上乗せすることはあるのか。</p> <p>○落札者がいなければもう一度時間をかけてやり直すのか。</p> <p>○工法としてブロック積や吹付法枠を採用しているが、他の工法は考えられないか。</p> <p>○平成30年9月の雨が降ったときに崩れたのか。工事が始まったのが1年3か月経ってからでありその理由は。</p>	<p>○県としては、適切に現地の状況を把握し基準に基づいて積算し予定価格を算出している。価格だけではなく、作業員を会社で用意できるかなど複合的に判断されて、見送られたと思っている。</p> <p>○予定価格や積算基準は公表しており、また予定価格を上回った場合に失格になるため、総額を予定価格に合わせたものと推察される。</p> <p>○小車運搬を計上するなど現場に合わせた積算としており、不落を恐れて追加計上したものはない。</p> <p>○時期を変えて、もう一度発注することになる。</p> <p>○現地調査により、大きく崩れたところはブロック積、地盤が比較的良いところは法枠を採用している。</p> <p>○雨が降ったときに崩れている。早期復旧に努めたが、地元関係者の調整や測量、地質調査、設計、用地調査、用地買収、危険区域の指定をしてから工事に入るため、時間がかかっている。その間は仮設シートで覆い、崩れが大きくなるような対策を行っている。</p>
<p>4. 指名競争入札（工事）</p> <p>【高津川 県単河川修繕（河床掘削）工事】</p> <p>〔発注機関：土木部 益田県土整備事務所〕</p>	
<p>○失格が6者あるが、業者も最低制限価格をわかっているのに、なぜこのようなことが起きるのか。</p> <p>○工事単価は基準額のようなものがあるのか。</p>	<p>○最低制限価格は公表しておらず、ぎりぎりのところを狙った業者が結果的に失格となった。</p> <p>○積算基準により算出している。この工事では見積もりは取っていない。</p>

<p>○失格者が多いのは予定価格が高すぎるのではないか。</p> <p>○予定価格から最低制限価格は推測できるのか。</p> <p>○最低制限価格を非公表としている理由は。</p>	<p>○年度末に向かって工事が終わっていく時期でもあるため、入札価格を安くしても次の工事を取りに行くこともあるのではと推察される。</p> <p>○直接工事費や諸経費に対する率を公表しており、概ねの額は推測できるが、幾らかの違いは出てくる。</p> <p>○業者の見積もり努力を損なうことやくじによる偶然の受注が増加することが危惧されるためである。</p>
<p>5. 簡易型一般競争入札（工事）</p> <p>【宍道湖流域下水道 宍道湖西部浄化センター No. 1 消化タンク（電気設備）改築工事】</p> <p>〔発注機関：土木部 宍道湖流域下水道事務所〕</p>	
<p>○見積もりを出しても入札に参加しないことが多いのか。</p> <p>○機器費一式について県の設計額と落札業者の入札額が異なっている理由は。</p> <p>○落札業者は下水処理場の他の工事にも入っているのか。</p> <p>○攪拌装置と電気設備はセットなのか。</p>	<p>○2、3年前に同じようなケースがあった。理由はよくわからない。</p> <p>○労務費は落札業者の方が高くなっており、全体額を抑えるために機器費一式の費用を安くしたものと推察される。</p> <p>○他の工事にも入っているがそこまで多くない。</p> <p>○電気設備は別途工事で発注している。</p>
<p>6. 簡易型一般競争入札（工事）</p> <p>【大社漁港海岸 農山漁村地域整備交付金（海岸環境）工事 その3】</p> <p>〔発注機関：農林水産部 松江水産事務所〕</p>	
<p>○その3工事とは平成25年から始めて3番目の工事ということか。</p> <p>○工事費内訳表で入札参加者3者のうち2者で一般管理費を除く各項目の費用が同じとなっているが、偶然の一致か。</p>	<p>○今年度の3番目の工事ということである。</p> <p>○園芸業者の中で、ある程度同じ単価を共有されているものと推察される。</p>

<p>○落札率が90%ということは、最低制限価格に近いということか。</p> <p>○クロマツなどの植栽の単価は見積もりを取っているのか。</p> <p>○資格設定時の対象参加者数は8者となっているが、園芸業者が対象か。</p> <p>○維持管理は落札業者が行うのか。</p> <p>○60cmの苗木を植えるのが一般的か。</p> <p>○周辺住民にとっては喫緊の課題であり、いつ育つか心配にならないか。</p>	<p>○最低制限価格ぎりぎりである。</p> <p>○普通の苗木は、県の単価等を使用する場合もあるが、防風柵とか防砂柵は見積もりを取っている。</p> <p>○基本的には園芸業者を対象としている。</p> <p>○工事後は県が引き受けるが、出雲市と管理協定を結び出雲市が管理する予定である。</p> <p>○移植は難しく、現地になじむためには苗木で植えるのが一般的である。</p> <p>○現地を見ていただければわかるが、以前苗木で植えたものも、かなり大きくなっており、管理に苦勞している状況である。</p>
--	--

7. 一般競争入札（工事）

【元町人麿線 防災安全交付金（街路）橋梁下部第6期工事】

〔発注機関：土木部 都市計画課〕

<p>○これまでの工事は同じ業者が取ったのか。</p> <p>○技術提案の加算点はどのように決まっているのか。</p> <p>○評価は入札の前にやるのか。</p>	<p>○上部工は県外業者が施工している。いろいろな業者が携わっている。2, 3, 4期は今回と同じ業者である。</p> <p>○コンクリートの品質向上、場所打ち杭の出来形精度向上及び品質向上、周辺環境対策を技術提案を評価対象としている。評価できる案の数により点数を定めている。</p> <p>○業者名を隠して評価し、技術評価点を確定する。その後開札して技術評価点と入札価格で評価値を定めて落札業者を決定する。</p>
---	--

<p>○技術評価点を知った上で入札するの か。</p> <p>○県の設計額に比べて、現場管理費と一 般管理費の入札額が安くなっている理 由は。</p>	<p>○点数を教えることはない。</p> <p>○設計額は積算基準に基づいて算出して いる。入札業者は、工期短縮や資材調達な どの工夫により経費を安く出来ると判断 したものと推察される。</p>
<p>8. 随意契約（工事） 【島根県日比谷しまね館新装工事】 〔発注機関：商工労働部 しまねブランド推進課〕</p>	
<p>○コンペに落ちたところへの参加費の支 払いはコンペの段階で事前に相手方に も通知していたのか。</p> <p>○デザインと工事を別発注することもあ り得るのか。</p> <p>○地元の業者はコンペに入っているの か。</p> <p>○コンペの審査員で外部の方はビルの持 ち主のみか。</p>	<p>○通知をしていた。参加費は色々な提案競 争の参加費を勘案して設定した。</p> <p>○今回は、デザインをしっかり実施設計、 施工まで反映できることを重視した。費 用の軽減にも繋がるものである。</p> <p>○1者のみJVで入っている。</p> <p>○入居する関係機関が県産品や観光情報を どのように見せたいか、また、ビルの持 ち主としてどのようなデザインは好まし いかを判断するためにこのような構成と なった。</p>
<p>9. 指名競争入札（業務） 【令和元年度島根県営住宅（松江市新古曾志団地外）改修工事調査・設計業務】 〔発注機関：総務部 東部県民センター〕</p>	
<p>○予定価格はどのように決定するのか。</p> <p>○3者辞退しているが、その理由はわか るか。</p>	<p>○積算基準があり、それに基づいて積算し ている。積算基準は公表されている。業 務委託は予定価格を公表していないが、 だいたいの金額は業者側も積算できる。</p> <p>○民間の設計を受けており、忙しかったも のと推察される。</p>

<p>○修繕したが老朽化によりすぐに使えなくなるようなことはないか。</p> <p>○指名した業者の中で工事が出来る業者はあるのか。</p> <p>○1者のみ入札金額が非常に高い業者があるが。</p>	<p>○長期的な修繕計画が立てられており、建て替えを予定しているものについては、修繕は見送られる。</p> <p>○ない。設計を専門としている。</p> <p>○真意はわからない</p>
--	---

10. 指名競争入札（業務）

【宍道湖流域下水道 業務継続計画（BCP）策定業務委託】

〔発注機関：土木部 下水道推進課〕

<p>○準県内の定義は。</p> <p>○各社の入札価格に大きな開きがあるのはなぜか。</p> <p>○被害想定に価格差が出る理由は。</p> <p>○前回、平成26年3月版を策定したときの業者は指名しているのか。</p> <p>○見積もりは何者から取っているか。</p> <p>○BCP策定業務は委託することが多いのか。</p> <p>○市町村と一緒にやればよいのでは。</p>	<p>○本社が県外で、県内の営業所にそれなりの技術者が居る会社をいう。</p> <p>○被害想定と非常時対応計画・事前対策事項の抽出に単価差があった。</p> <p>○ホームページに掲載している島根県の地域防災計画や県全体の業務継続計画を基に整理すればよいが、高く見積もった業者があった。</p> <p>○指名している。数千円の差ではあるが、今回は落札できなかった。</p> <p>○今回指名した10者から取っている。</p> <p>○BCPは簡易版と網羅版があるが、県としては市町村を指導する立場から網羅版を策定している。他県の例でも直営での策定は難しく委託している。</p> <p>○昨年から議論を進めているが、それぞれの市町村の事情があり、ハードルが高い。</p>
--	---

(その他)

1. 次回の会議日程は、令和2年12月17日(木)に開催予定。
2. 抽出対象期間は令和2年4月1日から令和2年9月30日までの間とし、抽出事案数は10件とされた。